

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|---|-----------------------------|-----------|--------|------------------------|
| デザイン演習Ⅲ Exercise in DesignⅢ | | 2年 | 後期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 選択 | (特になし) | Illustrator演習を履修した学生のみ |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 萩原雅広 | 非常勤講師室 | 授業中に指示します | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| デザイン演習Ⅰ・Ⅱを通して学んだことを軸に、公募に応募する事を目的に作品を制作する。クライアントが指定したデータ形式・サイズ・納期・要望を良く吟味し、様々な情報を整理しながらデザインを展開する能力を身につける。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①ベクトルデータをピクセルデータ化し、マルチメディアに対応することができるようにする。 ②デジカメで撮影した写真データをPhotoshopを用いてブラッシュアップすることができるようにする。 ③Illustratorの文字・段落を用いた正確な組み版を作成することができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| Adobe Illustrator および Photoshop を用いた演習形式である。 | | | | |
| 学習の成果 (学習成果) | | | | |
| 授業の目標①～③を達成すると、デザインの公募に応募、マルチメディアに対応したデータへ変換、リーフレットをデザインすることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス リーフレットのデザイン1 | | | |
| 第2回目 | リーフレットのデザイン2 | | | |
| 第3回目 | ラフに基づいて商品撮影を実際に行う1 | | | |
| 第4回目 | ラフに基づいて商品撮影を実際に行う2 | | | |
| 第5回目 | 撮影した写真をフィニッシュしリーフレットを完成させる1 | | | |
| 第6回目 | 撮影した写真をフィニッシュしリーフレットを完成させる2 | | | |

| | | |
|---|------------------------------|---|
| 第7回目 | 撮影した写真をフィニッシュしリーフレットを完成させる 3 | |
| 第8回目 | 公募に作品を応募してみよう 1 | |
| 第9回目 | 公募に作品を応募してみよう 2 | |
| 第10回目 | 公募に作品を応募してみよう 3 | |
| 第11回目 | 公募に作品を応募してみよう 4 | |
| 第12回目 | 公募に作品を応募してみよう 5 | |
| 第13回目 | 公募に作品を応募してみよう 6 | |
| 第14回目 | 公募に作品を応募してみよう 7 | |
| 第15回目 | 公募に作品を応募してみよう 8 | |
| | | |
| 成績評価の方法と基準 | | |
| 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| 授業参加態度 | | |
| レポート | 80% | ①コンセプト、②オリジナリティ、③アイデア、④色彩、⑤クオリティの5項目（各16点×5=80点）で採点し、各項目で満点となる条件は「第三者が納得できるレベルに達している」である。 |
| 調査報告書 | | |
| 小テスト | | |
| 試験 | | |
| 発表内容（態度含む） | | |
| その他 | 20% | 課題を提出した学生が加点対象となる。満点の条件は複数の課題を提出することである。 |
| 教科書と参考図書 | | |
| 必要な内容のプリントを随時用意する。 参考図書：Illustration（出版：玄光社） | | |
| 履修上の留意点・ルール | | |
| 欠席者には追加課題提出がある。詳細については授業で説明する。 | | |